

登米地域の麦作技術情報 第4号



令和7年6月2日発行
Tel 0220-22-6127

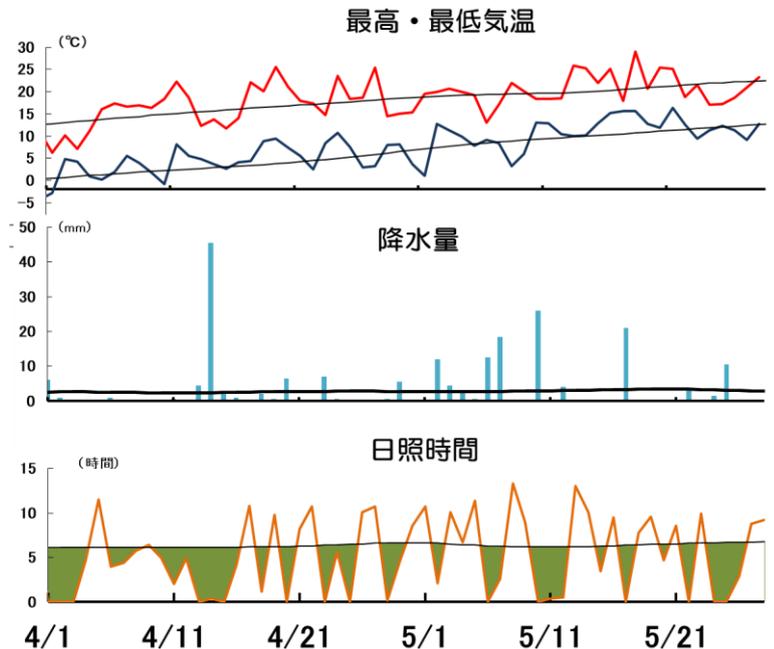
宮城県登米農業改良普及センター
HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

1. 気象経過 (4月上旬～5月下旬)

最高気温、最低気温は、ともに4月中旬に平年より2℃以上高くなり、その後しばらくは平年並みでしたが、5月中旬になり、再び平年より2℃以上高く推移しています。

降水量は4月中旬と5月上旬が平年より多く、4月14日には45mm以上の降雨がありました。

日照時間は4月上中旬は平年比54～69%と平年より少なくなりましたが、その後は平年並みとなりました。



2. 調査ほ及び管内の生育概要

5月21日現在の生育状況

品種	町域		稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	播種日 (月/日)	出穂期 (月/日)	刈取目安 (月/日)
あおばの恋	豊里	本年値	76.7	9.6	614	10/27	5/8	6/20頃
		前年比・差	92%	98%	63%	-7	+9	-
【参考】夏黄金	中田	本年値	85.5	9.5	533	10月下旬	5/5	6/17頃
	豊里	本年値	80.9	9.1	1,094	10月下旬	5/9	6/21頃

※夏黄金はあおばの恋と調査方法が異なるため参考数値である。

あおばの恋の出穂期は5月8日、夏黄金の出穂期は5月5日から9日頃となりました。

あおばの恋の穂数は前年を大きく下回りましたが、品種の目標値以上となっています。また、稈長、穂長は前年とほぼ同程度となりました。

3. これからの管理のポイント → 麦類の適期収穫と適切な乾燥調製

1) 適期収穫 … 収穫開始の目安となる子実水分は30%です

・麦類は収穫時期が品質に大きく影響します。

収穫時期が早い

選別不良、こき胴などの衝撃による損傷粒の発生及び搬送部の詰まり



収穫時期が遅い

倒伏や穂切れ、発芽粒や退色粒の発生、鳥害による損失が増える。

ほ場をよく確認し刈取時期の判断を適切に行いましょう。

- ・成熟期は、大麦で出穂後約 40～45 日後、小麦で 45～50 日後です。成熟期の 3～4 日後が収穫適期となります。（生育調査をしているほ場では、あおばの恋：6/20頃、夏黄金：6/17～21頃が刈取適期の目安となります。）

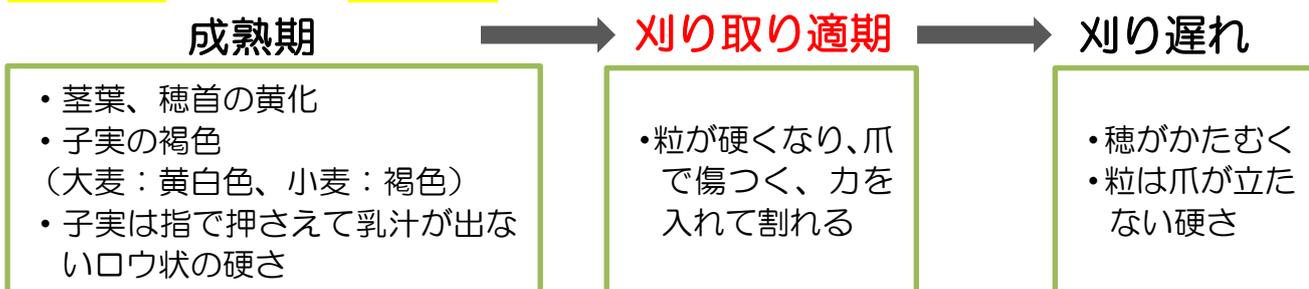
ただし、子実水分に注意して刈り取りを行いましょ。

- ・成熟期の子実水分は概ね 32～45% です。成熟期以降の麦は晴天下では急激に乾燥が進みます。特に小麦は降雨後子実水分が上がっても乾きが速く、1日に5%も低下することがあります。大麦は外皮があるため降雨後の水分低下が遅く、降雨の影響が大きくなります。

- ・子実水分が高いと搬送部の詰まりや選別不良や損傷粒の増加などが生じやすくなります。作業速度の低下や刈取条数を減らすなどして穀粒流量を少なくし、収穫作業を行いましょ。

- ・コンバイン収穫作業の降水量限界基準は、当日 5mm 以下、前日 15mm 以下、前々日 25mm 以下です。

○刈取適期の判断のポイント

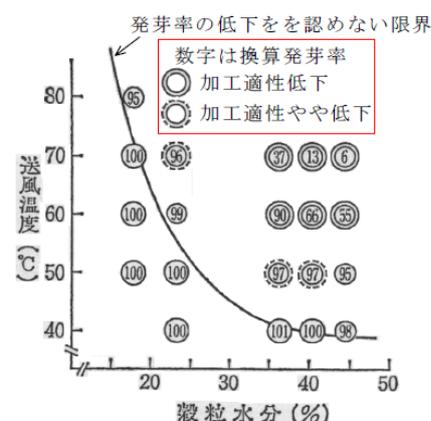


2) 適切な乾燥・調製 …**収穫後は速やかに乾燥機に張り込み、通風させましょ。**

高水分で刈り取った麦を収穫後そのまま積み重ね放置すると、高水分な麦ほど短時間のうちに麦温が上昇し変質をきたしやすくなります。また、急激に乾燥させると、発芽率や加工適性が低くなります。

- ・循環型乾燥機への張り込み量は最大張り込み量の 7～8 割、穀温が 40℃以内となるよう送風温度は 50～60℃、平均毎時乾減率は 1.0～1.2%が目安です。

ただし、子実水分が高い場合は張り込み量 6～7 割、送風温度を 40～45℃とし、乾燥が進んでから通常の送風温度に調節しましょ。



- ・篩い目は小麦・大麦とも 2.4mm を基本とし、子実水分は小麦 12.5% 以下、大麦 13.0% 以下に仕上げましょ。

4. 赤かび病被害粒混入防止の徹底について

1) 赤かび病による被害粒

赤かび病菌が産出するかび毒、デオキシニバレノール(DON)は人畜に中毒症状を引き起こすため、農産物検査上、大麦・小麦ともに赤かび粒（赤かび病等により赤色を帯びた粒）の混入限度は0.0%以下（赤かび病被害粒が1万粒中に5粒の混入で規格外）と厳しく設定されています。

2) 収穫・調製時の対策

① 適期収穫

収穫時期が梅雨時期と重なり、降雨や多湿により赤かび病が発生しやすくなるので、刈り遅れないよう適期に収穫しましょう。ほ場毎の熟期をよく確認しましょう。

② 発病ほ場では刈り分け

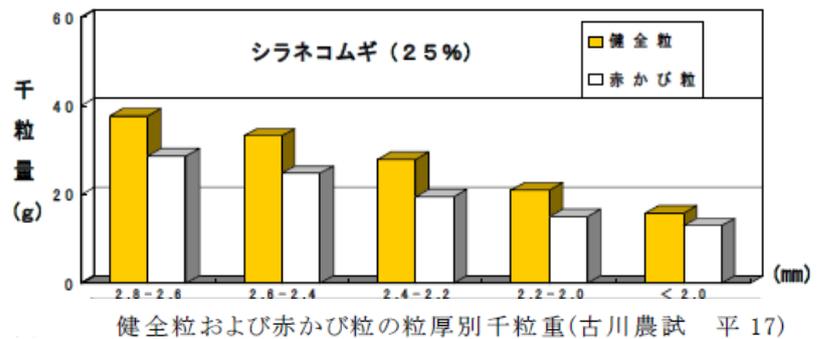
湿害などで麦が弱っている部分では赤かび病の発生が多くなります。今年は、4月、5月に降雨が多く、発病しやすい条件になっています。発病の多い部分は除外するなどの対策を行ってください。

③ 収穫後は直ちに乾燥

収穫物を高水分状態で放置すると、被害粒が増加しやすくなります。収穫後は直ちに乾燥作業を行いましょう。

3) 赤かび粒の除去

- 赤かび病被害粒は粒厚が薄く、また比重が軽い傾向にあります。粒厚選別、比重選別などによる調整を行いましょう。



4) 次年度の対策

- 早めに耕起し被害残渣（麦わらやこぼれ麦等）は早めに耕起し土壌中にすき込む、又はほ場外へ持ち出し、伝染源密度を低下させましよう。

5. 東北地方の向こう1か月の天気予報（仙台管区气象台 5/29発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	東北地方	向こう1か月 05/31~06/30	20 (低) 30 (平) 50 (高)
		1週目 05/31~06/06	30 (低) 50 (平) 20 (高)
		2週目 06/07~06/13	20 (低) 30 (平) 50 (高)
		3~4週目 06/14~06/27	20 (低) 30 (平) 50 (高)
降水量	東北地方	向こう1か月 05/31~06/30	30 (低) 30 (平) 40 (高)
日照時間	東北地方	向こう1か月 05/31~06/30	40 (低) 30 (平) 30 (高)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

令和7年度 農薬被害防止運動！！（令和7年6月1日～令和7年8月31日）
「使用前、周囲よく見て ラベル見て」